

水洗い不要の中性厚膜塗材はく離剤

ハクリパワーシリーズ

スーパーハクリパワー V50 / ハクリパワー V30

〈ハクリパワーシリーズ〉は、酸、アルカリ性などの成分を含んでいないため、コンクリート・木部・金属類への化学的影響が殆どない、中性タイプのはく離剤です。施工中の粉塵、騒音などの近隣環境への配慮も加味し、“後工程も楽”など、総合的に考えた合理的な商品が〈ハクリパワーシリーズ〉です。

5つの「力」+ 低臭気



シンプル
簡単

水洗い不要! 下地処理だけ!

※主成分であるメチレンクロライドは水で流すと害がありますので、流さないようにしてください。



パワフル
強力

厚く塗り重ねられた塗膜にも強力に浸透



スピーディ
速攻

約10分*で完全浸透。作業能率が上がる!

※浸透までの放置時間は、季節及び塗膜の種類によって異なります。



ニュートラル
中性

酸・アルカリなどの成分不使用



オールマイティー
万能

あらゆる塗膜*に対応

※セメントリシン、モルタルなどの無機質系ははく離できません。

ハクリパワーシリーズの特長

- 中粘度のスーパーハクリパワー V50は、垂直面に“ダレ”なく塗付できます。
- 塗付すると表面に揮発抑制皮膜を形成し、通常の使用において、養生フィルムをラップする必要がありません。
- 厚膜・多目的に使用できるので、幾つもの種類のはく離剤を保有する必要がありません。
- 他社品と比較し揮発性が遅く、厚膜に対応します。
- 塗付量が分かるよう色素（ブルー）を含有しています。
- 約10分～60分以内で（季節による）はく離が可能（速効性）です。
- ハクリパワーシリーズは非常に浸透力が強く、速やかに塗膜面より塗膜粒子間に浸透し、下地と塗膜との界面を軟化し、塗膜をはく離させます。

標準施工仕様工程手順とポイント

手順1：事前試験施工 **実施工前に必ず試験施工を行い、効果の確認をしてください。**

旧塗膜の塗り重ねが多いため、下地まではく離できるか、また放置時間、塗付量の目安を知るために行います。
※要複数箇所

手順2：保護フィルム養生

はく離剤が土中、植栽などに落ちない様に、保護フィルムでの養生を行います。

手順3：塗付 **はく離剤は多めに塗付してください（平均塗付量：1kg/m²）。**

一度で標準塗付量が塗れない場合は2～3度に分け塗付してください。
夏、冬は、フィルムでラップをすると効果が向上します。

手順4：放置 **放置時間（季節により変化します）は厳守してください。**

旧塗膜と下地の界面まで浸透させ、塗膜が軟化するまで10分放置します。

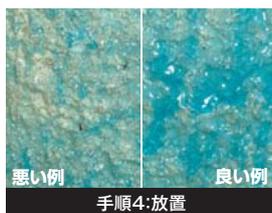
手順5：はく離

はく離剤が硬化する前に、手ケレン（スクレーパー・皮スキなどで）軟化塗膜を除去します。

手順6：塗膜除去後下地の後処理

ハクリパワーで軟化した塗膜をスクレーパーなどで除去した後は、はく離剤の残存が無くなるまで充分に乾燥させてください。

※また、水洗いをする場合は、除去後24時間経過後に1㎡当たり5L以上の水洗いを行って下さい。（推奨：10MPa前後で30秒/m²）



手順4:放置



手順5:はく離

- 詳細はハクリパワー施工資料をご参照ください。
- 旧塗膜が濡れているときや高温時（35℃以上）、低温時（5℃以下）、強風・降雨・降雪時又はそれらの恐れがある場合は、作業を行わないでください。

標準塗付量

既存塗膜の種類	塗付量(目安) (kg/m ²)	膜厚 (mm)	放置時間(分)	
			夏20℃	冬5℃
弾性タイル	1.0～1.5	1～2	40～	50～
エポキシタイル	1.0～1.5	1～2	40～	50～
床材ウレタン・エポキシ	1.0～1.5	1～2	40～	70～
アクリルタイル	0.8～1.0	0.5～1	10～	15～
リシン	0.8～1.0	0.5～1	10～	15～
一般塗料	0.3～0.5	0.3～0.5	10～	10～

※エポキシ、ウレタン床材に関してははく離が困難な場合がありますので、テスト施工してください。

※セメントリシン、モルタル等の無機系は、はく離できません。

スーパーハクリパワー V50〈厚膜用〉

ハクリパワー V30〈薄膜用〉



取り扱い上のご注意 （作業する方々への注意事項）

取扱いは、下記の注意事項を守ってください。詳細な内容が必要なときは、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。

1. ハクリパワーシリーズ使用時には、保護手袋、保護眼鏡、前掛、ガスマスク等を使用してください。
2. キャップを開けるときに、ガスが吹き出すことがあります。顔を近づけないようにして徐々にキャップをゆるめガスを抜いてください。
3. ハクリパワーシリーズは不燃性ですが、第二種有機溶剤に該当する溶剤を使用しています。有機溶剤中毒予防規則に従ってお取り扱いください。
4. 作業中、特に屋内では換気を十分に行ってください。また、溶剤のガスは空気より重いので、使用している所より下にいる人にも有機溶剤取扱中であることを通知し、表示も行ってください。
5. 取扱中、万一皮膚に付いた場合はすぐに拭き取り、水洗いを行ってください。
6. 作業場所やその周辺に対して、飛散や接触する範囲には、ポリエチレンフィルムなどで養生を行ってください。
7. 直射日光や車内など高温となる場所には放置しないでください。
8. 通常の保管状態で半年以内にお使いください。なお、使い残しは元の缶に戻さないでください。
9. 廃材を、排水溝や河川、土中等に流さないでください。
10. 廃棄処理は特別管理産業廃棄物で処分してください。

取り扱い店